

「すべての人が地域で共に生き、支え合う『つながる』まち、あぐい」を目指して
 (「阿久比町地域福祉計画」基本理念)



あなたの「困ったな」を相談してください！

地域の福祉相談員「コミュニティソーシャルワーカー (CSW)」

コミュニティソーシャルワーカー (CSW) は、「地域の福祉相談員」として、高齢、障がいなどの分野にとらわれず、本人・世帯が抱える悩み・課題を解きほぐし、関係機関と連携して解決に向けた支援活動を行っています。

CSWの活動例

【近所の皆さん】



近所に一人暮らしの50代の方がいるけれど、仕事に出掛ける様子がない。今まで親の年金で生活してきたようだったけれど、その親も最近亡くなったと聞いている。
 生活できているか心配だけど、どうしたらいいだろうか。



【CSW】

地域に出向き、話を伺い、本人の状況や気持ちなどを確認します。
 活用できる制度・サービスなどの利用を提案しながら、関係機関や地域の支援者と協力して解決に努めます。



【課題を抱える本人】



今まで一人でどうしたらよいか分からず、何もできずにいました。誰かが自分のことを気に掛けてくれるようになり、相談先も見つかって、これからのことを前向きに考えられるようになりました。

困りごとを抱えていても、打ち明けることができなかつたり、本人が自覚していなかつたりする場合があります。身近な地域の皆さんの「なんだか気になる」「なんだか心配」が、課題解決への大切な第一歩です。

「どこに相談したらいいか分からない悩みごと・心配ごと」がありましたら、気軽にご相談ください。

■ 問い合わせ先 地域の福祉相談員「コミュニティソーシャルワーカー (CSW)」

阿久比町社会福祉協議会 ☎(48) 1111 (内1523)

※ この記事は、阿久比町地域福祉計画に基づく、社会的孤立を防止するための取り組みのひとつとして掲載しています。



— 今月号の表紙 —

10月26日に南部小学校で「福祉実践教室」が行われました。児童は3つの講座(車いす体験・手話体験・認知症サポーター養成講座)に分かれ、それぞれ講師の方から話を聞いたり、実際に体験したりして福祉について学びました。手話教室では、児童が「電車」「キリン」などを口の動き、ジェスチャーでみんなに伝えようと奮闘。最後に手話でそれらをどう表現するか講師の方から学びました。(表紙の児童たちの手話は「ラーメン」を表現していました！おいしそうにすすっていますね)

